

資料 旧柏野尋常小学校奉安殿について

奉安殿（ほうあんでん）とは

奉安殿とは学校に下賜された「御真影（ごしんえい～天皇や皇后の写真）」や教育勅語などを安置する建物のことである。御真影は当初校舎内の奉安所に安置されていたが、学校の火事に際して御真影を守って校長が焼死する事件も起こるなかで、校舎から離れた地点に堅固な奉安殿を建設し、御真影を安置することが大正期以降顕著となった。奉安殿の建設は昭和10年以降全国的に実施され、国民精神総動員運動と連動した形で登下校時の奉安殿への最敬礼が一般化し、「御真影」はますます神格視された。敗戦後、文部省の命令(昭和21年6月29日次官通牒)などによって奉安殿は全面撤去され、「御真影」は焼却された。

柏野尋常小学校について

柏野尋常小学校は、1929（昭和4）年に「西別小学校附属上春別第四特別教授場」として開校、児童数は134名であった。1931（昭和6）年に柏野尋常小学校に改称、1941（昭和16）年に柏野国民学校に改称した。

学校名は、山口英司校長が「柏の木の沢山ある原野に建っているところから」名づけた。1944（昭和19）年、計根別第三飛行場の建設のため、開進国民学校の移転が強要されると、柏野国民学校も「巻ぞい」になり、両校は解体されて大成国民学校となった。

現在校舎のあった場所には柏野会館があり、1937（昭和12）年に柏野青年団が寄贈した小学校校門の一部が現存している。



写真1 柏野尋常小学校（昭和12年）

旧柏野尋常小学校奉安殿の歴史

柏野尋常小学校の奉安殿は、1937（昭和12）年10月5日に竣工した。建築費は700円で、そのうち350円は柏野地区からの寄付によって賄われた。竣工当時の写真が残っているが、この写真から当時の柏野地区の人たちが、奉安殿建築作業にも従事していたことが窺える。

奉安殿建設の契機は、天皇の北海道行幸であった。1936（昭和11）年秋、天皇は石狩平野での陸軍特別大演習に前後して、道内各地を行幸した。



写真2 柏野奉安殿（昭和12年撮影）

1 『記念誌』84頁。

2 当時白米1俵12円45銭、2歳馬1頭100円であった。『記念誌』51頁。

9月28日は根室を訪れているが、その際当時の柏野尋常小学校長植木壽久は、厚床駅で「聖駕奉拝」のため、すなわち天皇の乗った特別列車を見送るために厚床に出張している。また9月29日の帯広飛行場での御親閲には、同校訓導小田中一治（訓導は現在の正教諭）が同校青年学校生を引率し、受閲した。天皇が函館の柏野練兵場（現函館競馬場）で御親閲して北海道を去った日である10月10日には、同校で奉迎式を挙行し、部落住民が多数参列した。その時の記念事業として奉安殿建築が決議され、保護者会で寄付募集が開始されたのである。

こうして完成した奉安殿であったが、肝心の御真影が下賜されたのは、完成から1年後の1938（昭和13）年10月30日のことであった。天皇と皇后の御真影が下賜されたこの日は、開校記念日と並んで柏野尋常小学校の記念日となった。

北海道綴方教育連盟事件

僅か15年の柏野尋常小学校の歴史に暗い影を落としているのが、北海道綴方教育連盟事件である。北海道綴方教育連盟は1935（昭和10）年に結成されたが、型にはまった作文ではなく、子どもたちにあるがままの生活を綴らせる生活綴方教育の実践が「プロレタリアの階級意識を培育」しているなどとして、1940（昭和15）年11月にまず3人が、翌年1月10日に50人を超える教師たちが治安維持法違反で逮捕された。当時柏野尋常小学校の校長であった小田中一治も逮捕された一人であった。昭和18年6月30日、小田中元校長に懲役1年（執行猶予3年）が言い渡された。戦後、小田中は木材関係の仕事に就いたという。

小田中校長が校長であった昭和14～15年度の学校沿革誌は失われており、昭和16年度から19年度の沿革誌の記述はそれまでと比較すると極めて簡略である。この事件が柏野尋常小学校に、そして地元住民に与えた衝撃を暗に物語っているかのようである。

奉安殿の現状について

戦後の撤去命令にもかかわらず柏野の奉安殿が現存しているのは、上述のように昭和19年の時点で柏野国民学校は存在せず、同年に奉安殿を柏野神社としたため、戦後に撤去の対象とはならず現在まで残っていると推測される⁴。

コンクリート製の建造物であるが、建設から70年以上を経過して破損が進んでいる。また奉安殿周囲にあった鉄柵と門扉は半壊状態である。

奉安殿内部には、当時教育勅語や御真影を入れていたと思われる観音開きの柵があり、菊

の紋章もあることから、これは1934（昭和9）年5月1日に柏野尋常小学校に納入された「勅

3 敢えて天皇が北海道を離れる日に奉迎式を行ったのは、偶然同じ「柏野」の名のつく場所での御親閲があったからではないかとも考えられる。

4 柏野国民学校の御真影は、1944（昭和19）年11月2日、大成国民学校に「奉遷」された。



写真3 現在の旧柏野尋常小学校奉安殿

語奉蔵棚」である可能性がある。

1980（昭和 55）年に奉安殿の隣に神社が新築されて、鳥居も新しい神社の前に移されているが、現在も奉安殿内には、神社関係の物が一部置かれている。

旧柏野尋常小学校奉安殿の歴史的価値

戦後に破壊指令が出たことから、奉安殿が現在まで残っていることは稀であり、町内に残っていることが確認されているのはこの柏野の奉安殿だけである。また、道内においても現存が確認されているのは僅か 36 棟である。⁵

以上述べてきたように、本物件は柏野尋常小学校の歴史を物語るだけでなく、わが国の戦前教育の歴史にとっても極めて重要かつ貴重な歴史遺産であるといえる。



写真 4 奉安殿内部の棚

主要参考文献

- ①. 『柏野尋常小学校沿革誌』（上西春別小学校所蔵）
- ②. 『大成小学校沿革誌（1）』（上西春別小学校所蔵）
- ③. 『帯広市史』（1984 年）
- ④. 小野雅章「御真影・奉安殿の戦後「改革」—戦後教育改革における天皇制の転成—」『教育学研究』第 57 巻第 4 号（1990 年）、10～18 頁。
- ⑤. 小野雅章「御真影神格化の過程—「奉護」施設の変遷を中心に—」『日本の教育史学』第 34 集（1991 年）、66～81 頁。
- ⑥. 柏野開拓五十周年記念事業実行委員会『柏野開拓五十周年記念誌』（1978 年）
- ⑦. 関川修司「忘れ去られた建物～奉安殿～」一般財団法人北海道建築指導センター『センターレポート』第 184 号（2013 年）、28～29 頁。
- ⑧. 平澤是曠『弾圧 北海道綴方教育連盟事件』（北海道新聞社、1990 年）
- ⑨. 山田雅也「戦前・戦中の風景／北海道の奉安殿」『北海道の文化』82 号（2010 年）、32～35 頁

5 山田雅也氏と関川修司の奉安殿現存調査による。

旧柏野尋常小学校奉安殿関連年表

年	元号	月日	できごと	出典
1925	大正 14	4月 22日	治安維持法公布	
1929	昭和 4	5月 28日	西別小学校附属上春別第四特別教授場を上春別原野 59 線南 5 番地に開校。 入学児童 134 名。	①
1929		9月 8日	上春別小学校附属になる	①
1930	昭和 5	5月 3日	上春別第二尋常小学校と改称	①
1931	昭和 6	3月 9日	教育勅語下賜	①
1931	昭和 6	3月 26日	柏野尋常小学校と改称	①
1932	昭和 7	2月 11日	青年団発団式挙行	①
1932	昭和 7	6月 29日	降霜で「被害甚大」「各作物回復ノ見込ナシ」「放棄シテ出稼セルモノ多シ」	①
1932	昭和 7	9月 11日	柏野小学校で農民大会が開かれる	①
1934	昭和 9	4月 1日	小田中訓導に任命	①
		5月 1日	勅語奉蔵棚到着、直ちに奉蔵する。	①
		9月 3日	小田中訓導着任	①
1935	昭和 10	4月 1日	青年学校令施行・公布	
		8月 7日	北海道綴方教育連盟結成	⑧ 103
1936	昭和 11	9月 24日	北海道行幸のため天皇が横須賀港より出発	③ 293
		9月 26日	行幸御安泰祈願祭実施	①
		9月 27日	植木校長「聖駕奉拝」のため厚床に出張	①
		9月 28日	天皇、釧路を発ち根室町へ。その日のうちに釧路に戻る。	③ 293
			小田中訓導が青学生（青年学校生徒）を引率して帯広市に御親閲受閲のため出張	①
		9月 29日	天皇、帯広駅に到着。帯広飛行場で御親閲。約 2 万人の団体が行事を拝観。	③ 294
		10月 10日	天皇、函館柏野練兵場（現競馬場）で御親閲。行幸を終え横須賀軍港に戻る。	③ 296
			奉迎式挙行。部落民多数参列。記念事業として奉安殿建築を決議、保護者会で寄付募集を開始する。	①
1937	昭和 12	7月 7日	盧溝橋事件	
		9月 25日	御真影奉安殿建築工事着手	①
		10月 5日	奉安殿竣工。工費 700 円、うち 350 円部落寄付。	①

年	元号	月日	できごと	出典
		10月13日	国民精神総動員週間実施	①
		11月5日	小学校の門柱建立（柏野男子青年団が寄贈）	①
1938	昭和13	10月30日	御真影下賜。夜には奉祝会開催。	①
1939	昭和14	4月30日	小田中訓導が校長を兼任	①
1940	昭和15	11月20日	綴方教育連盟の坂本らが検挙	⑧ 13
1941	昭和16	1月1日	元旦の式後、小田中校長と「長い別れになった」（綴方教育連盟事件）	⑥ 27
		1月10日	「綴方教育連盟事件」で50人を超える教師が検挙	⑧ 13
1941		4月1日	柏野国民学校と改称	⑥ 37
		4月30日	小田中校長退職	①
	昭和18	6月30日	小田中に懲役1年（執行猶予3年）が言い渡される。	⑧ 27
1944	昭和19	4月1日	開進国民学校との合併が決定	⑥ 37
1944		10月1日	柏野、開進の両校が合併し大成国民学校となる	⑥ 37
		11月2日	柏野国民学校の御真影が大成国民学校に「奉遷」	②
1944			「柏野神社を奉安殿に奉る」	⑥ 27
1948	昭和23		柏野小学校跡に会館を建設	⑥ 28